

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-THC

© 2006 Sony Corporation Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>



この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
② ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



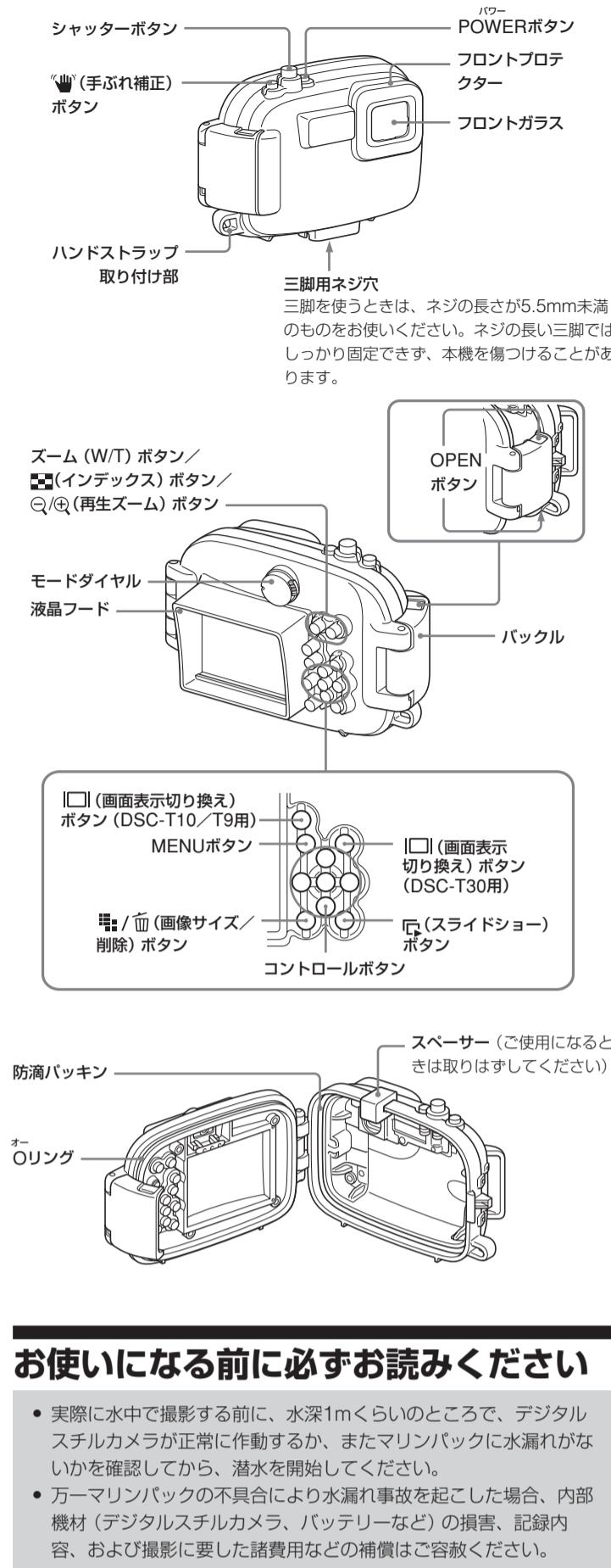
禁止

行為を指示する記号



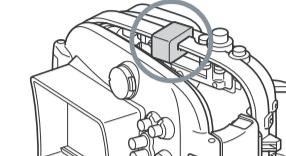
注意

各部の名前



お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、パックルをはずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂を落としてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30 分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- マリンパック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。
- 上記のお手入れはマリンパックにご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 保管するときは
 - リングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。
 - リングにホコリがつかないようにしてください。
 - リングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。パックルは締めないでください。
 - 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脑などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずはチェックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MPK-THC
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

お使いになる前に必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、デジタルスチルカメラが正常に作動するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深40m以内、また雪や雨などの悪天候時の撮影ができます）。

主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-T30/T10/T9専用のマリンパックです。（対象のデジタルスチルカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。）
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深40m以内、また雪や雨などの悪天候時の撮影ができます）。

Oリングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。
必ず確認したあとに、ご使用ください。
詳しくは、Oリングメンテナンスマニュアルをお読みください。

取り扱い上の注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることができます。
- 海辺や海上でのマリンパックの開閉はできるだけ避けください。デジタルスチルカメラの取り付けや“メモリースティック デュオ”交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- マリンパックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けください。
- 次のような環境でのご使用は避けください。
 - 高温多湿な場所
 - 40°Cを越える温水の中
 - 0°C以下の場所
 - 結露、水漏れ、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35°Cを超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のある場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- マリンパックに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、デジタルスチルカメラを本機から取り出してください。

マリンパックにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、マリンパック表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因になります。

水漏れについて

万一手持ちのデジタルスチルカメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止め効果について

マリンパック前部のガラス面は、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、デジタルスチルカメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

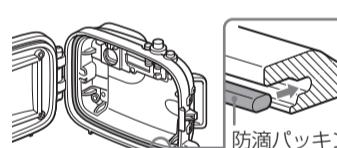
Oリング／防滴パッキンについて

Oリングについて

本機はOリング（オーリング）を使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
Oリングの取り扱いがたが不適切だと水漏れの原因になります。

防滴パッキンについて

防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因になります。
万一手持ちのデジタルスチルカメラがぬれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



Oリングと防滴パッキンの耐用年数

Oリング

マリンパックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン

防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

Oリング、防滴パッキン、グリスについて

ご購入はソニーの相談窓口にご相談ください。

ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。

Oリング（番号3-080-065-01）

防滴パッキン（番号3-080-066-01）

グリス（番号3-071-370-01）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル………0120-333-020

携帯電話・PHS一部のIP電話………0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル………0120-222-330

携帯電話・PHS一部のIP電話………0466-31-2531

※お取扱説明書にモニターの購入相談はどちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金 9:00～20:00 土・日・祝 9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

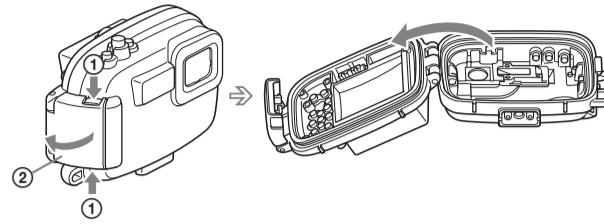
準備

マリンパックの準備

アタッチメントおよびフロントプロテクターを取り換える (DSC-T10/T9をお使いのかたのみ)

* 買い上げ時は、DSC-T30用に取り付けてありますので、DSC-T30をお使いのかたは以下の手順は不要です。

1 マリンパックを開ける。



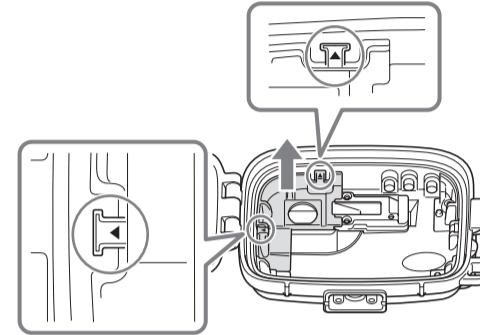
上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはし、マリンパックのボディーを開く。

ご注意

スペーサーは、マリンパックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

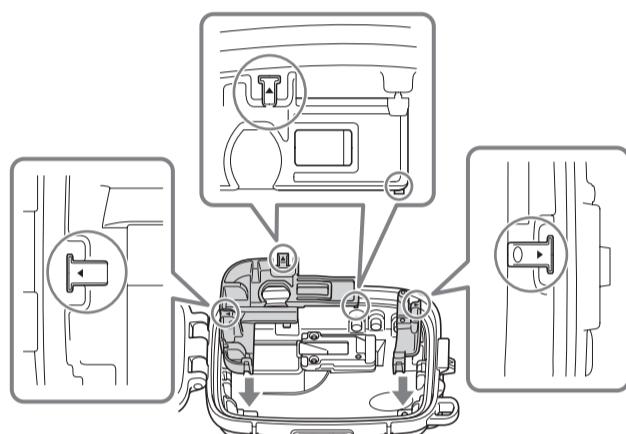
2 アタッチメントを取り換える

●DSC-T30用アタッチメントA-1(黒)を取りはずす



マークの部分(▲)を持って垂直に引き上げる

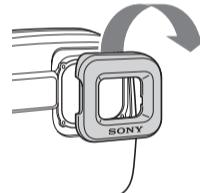
●DSC-T10/T9用アタッチメントB-1、B-2(グレー)を取り付ける



図の印位置をしっかりと押し込んでください

3 フロントプロテクターを取り換える

●DSC-T30用フロントプロテクターA-2(黒)を取りはずす



フロントプロテクターの向きを合わせて、しっかりと押し込むようにして取り付けてください。

ご注意

●お使いになるデジタルスチルカメラ用のフロントプロテクターに取り換えない場合、液晶画面に黒い帯状の影が発生します。必ず取り換えてください。

●装着後、フロントプロテクターに浮きがないことを確認してください。

Oリングと防滴パッキンの準備

1 Oリングを取りはずす。

2 Oリングにグリスを塗る。

Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

4 Oリングを取り付ける。

ご注意

●防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。

●砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。

Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、温湿度の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンパックの開閉は、マリンパック前部のくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。

2 バッテリー、“メモリースティック デュオ”を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。

3 レンズカバーを開けて電源を入れ、液晶画面を「ON」にする。

レンズカバーを開けるときは、レンズに触れないようにご注意ください。

デジタルスチルカメラのモードスイッチを「■」にしてレンズカバーを開けて電源を入れると、液晶画面が「ON」になります。

4 カメラモードを「オート」にする。

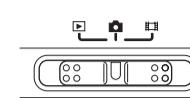
5 AFイルミネーターを「切」にする。

AFイルミネーターは使用できません。

6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

デジタルスチルカメラをマリンパックに取り付ける

1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンで電源「OFF」にする。



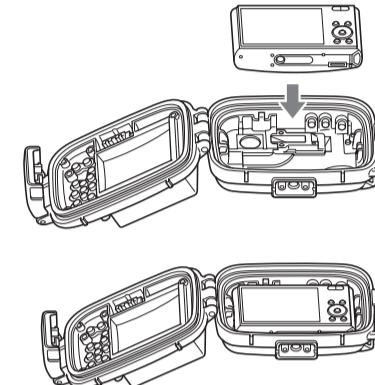
2 デジタルスチルカメラのモードスイッチを「■」にする。

3 マリンパックのモードダイヤルの位置をイラストのようにあわせる。



4 マリンパックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

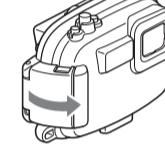
デジタルスチルカメラのレンズカバーは開いた状態にしてください。レンズカバーが閉じた状態で無理にマリンパックを閉じようすると故障の原因になります。
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

5 ボディーを閉じて、バックルを締める。

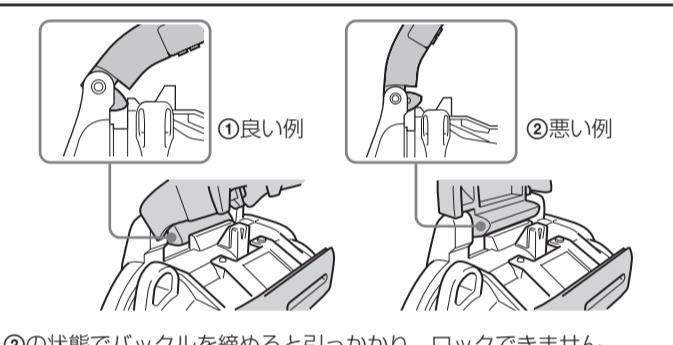
ボディーをしっかりと押さえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



ご注意

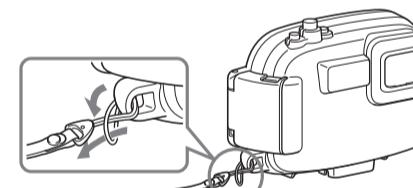
マリンパックのボディーを閉じるとき、Oリングの表面とマリンパックの溝に、ゴミや砂、毛髪などついていないことを確かめてください。上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

ボディーを閉じるときのバックルの位置



ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



ご注意

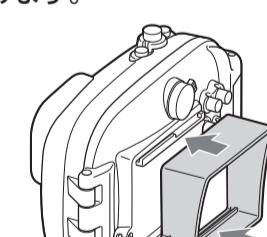
マリンパックのボディーを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

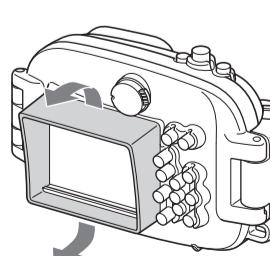
1 付属の脱落防止ひもを取り付けてください。

2 図のように液晶フード取り付け用のガイド凸部にあわせて強く押し込みます。



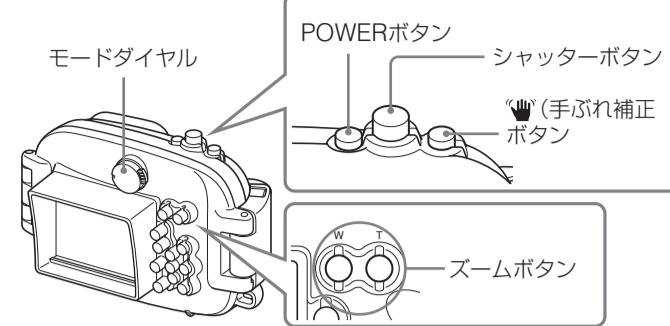
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

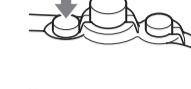


マリンパックを使う

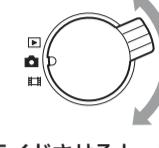
撮影する



1 電源を入れる。



モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。



モードダイヤルをスライドさせると、次のモードに切り換わります。



各モードについては液晶画面で確認してください。

2 モードダイヤルを希望のモードに合わせる。

液晶画面を見ながら撮影できます。

静止画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードスイッチを「■」にする。

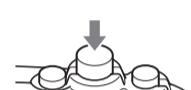
動画を撮影するとき…デジタルスチルカメラのモードスイッチを「■」にする。

動画撮影時、音声を記録することはできません。

場面に合わせて撮影をするとき…デジタルスチルカメラのモードスイッチを「■」にしてMENUボタンで設定する。

詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

3 シャッターボタンを押す。



ご注意

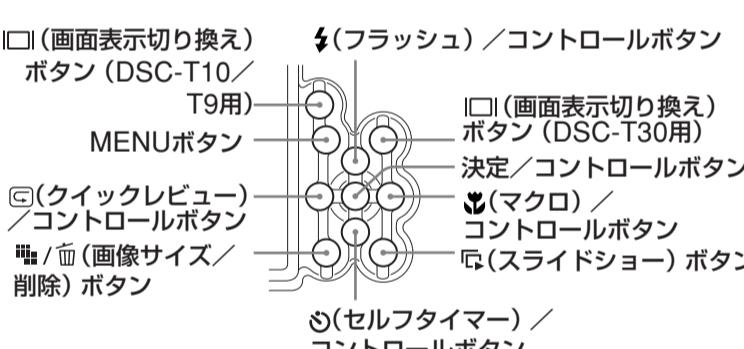
- デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをむやみにスライドさせないでください。故障の原因になります。
- 水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。
- マリンパックでフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなることがあります。その際は、水中ビデオライト HVL-ML20M(別売)の使用をおおすすめします。
- デジタルスチルカメラの拡大鏡モードでは、マリンパック内のガラス面のほこりやゴミにピントが合うことがあります。その際、ガラス面のほこりやゴミを取り除いてください。

ズーム機能を使う

W側を押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。
T側を押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

さまざまな機能を使う／設定をする

マリンパックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。



ご注意

- (画面表示切り替え)ボタンはお使いのデジタルスチルカメラに合わせてご使用ください。異なるボタンを無理に押すと故障の原因となります。
- 撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

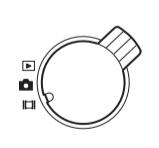
コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見るることができます。このとき音声は聞こえません。

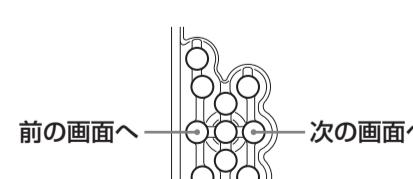
1 電源を入れる。



2 モードダイヤルを「■」にする。



3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。



詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

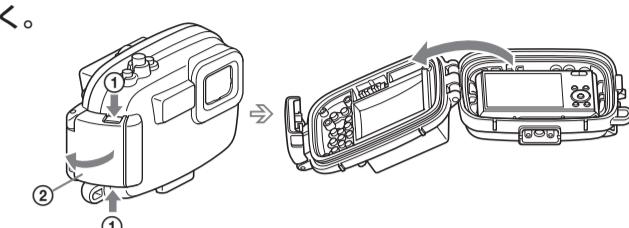
デジタルスチルカメラを取りはずす

1 電源を切る。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



2 上のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはし、マリンパックのボディーを開く。



3 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ダイビングの前に

- 水中撮影する前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンパックに取り付け、船上や海岸などでマリンパックの開閉は、できるだけ避けさせてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
- ご使用の前に、マリンパックの前後のボディーの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用の前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影すると、被写体の色が青みがかった見えることがあります。このような場合は、色の補正にカラーフィルターVF-MPTH2(別売)をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライト HVL-ML20M(別売)をお使いください。

故障かな？と思ったら

修理に出しになる前に、もう一度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- マリンパック内部に水滴がつく
→ Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
→ Oリングを正しく装着する。
→ バックルをカチッとロックされるまで締める。
- 撮影ができない
→ バッテリーを充分に充電する。
→ 「メモリースティック デュオ」の残量がない場合、別の「メモリースティック デュオ」を入れる。または不要なデータを消す。
→ 「メモリースティック デュオ」の誤消去防止スイッチを戻す。または別の「メモリースティック デュオ」を入れる。
- 液晶画面に黒い影が出る。
→ 正しいフロントプロテクターに取り換える。

主な仕様

材質

プラスチック(PC、ABS)、ステンレス、ガラス

防水構造

Oリング、バックル

耐圧

水深40 mまで